

図書館だより

〒519-0505 伊勢市小俣町本町2番地
電話 0596-29-3900 FAX 0596-29-3902
ホームページ https://iselib.city.ise.mie.jp
X (旧 Twitter) @ObataKosodate (全て半角英字)

小俣図書館 図書館行事 ご案内!

●赤ちゃんおはなし会

1月9日(木) 午前11時~ <2階・会議室>
(定員) 10組程度(当日先着順)



●たんぽぽおはなし会

1月11日(土) 午後3時~ <2階・会議室>
(定員) 20人程度(当日先着順)

●ピッコの会・紙芝居

1月19日(日) 午前11時~ <2階・会議室>
(定員) 20人程度(当日先着順)

●図書館おはなし会&工作

1月25日(土) 午後3時~ <2階・会議室>
おはなしの後、「とばせるおもちゃ」を作ります。
(対象) 3歳~小学生
(就学前の子どもは保護者同伴)
(定員) 20人程度(当日先着順)

●上映会

1月18日(土) 午後3時~ <2階・視聴覚室>
「陽炎の辻 完結編 ~居眠り磐音 江戸双紙~」
<<88分>>
出演: 山本耕史、中越典子 ほか ※敬称略
(定員) 20人程度(当日先着順)

●マナーアップ月間 2025

How to 図書館 本の住所を知ろう編 New
1月11日(土)~2月13日(木)

<1階・カウンター前>

図書館での本の探し方と、利用マナーに関する
展示をします。
また、オリジナルブックカバーを配布します。
(配布はなくなり次第終了します)



★謎の生物「チリモン」発見!!

1月26日(日) 午後1時30分~午後3時

<2階・ホール>

ちりめんじゃこに混入している小さな生物「チリメンモン
スター(チリモン)」の名前などを調べます。海に関する
おはなしやクイズもあります。
ガチャマシーンからチリモンボールをGETしよう!
(講師) 縣 拓也さん(鳥羽市立海の博物館)
(対象) 3歳~小学生とその保護者
(定員) 30組程度(先着順)
(申込み) 1月5日(日) 午前9時から直接または電話
で小俣図書館へ

●せつぶんおはなし会

2月2日(日) 午後3時~ <2階・会議室>
節分に関するおはなしの読み聞かせと工作をします。

(対象) 小学生以下
(就学前の子どもは保護者同伴)
(定員) 20人程度(当日先着順)



休館のお知らせ

2024年12月29日(日)~2025年1月4日(土)
は年末年始のため休館となります。

※ブックポストは通常通りご利用いただけます。



開館時間 午前9時~午後7時

休館日 毎週火曜日、第2金曜日

年末年始、特別整理期間

貸出 1人10冊2週間以内(うち雑誌は5冊まで)

1団体50冊1か月以内(うち雑誌は25冊まで)

小俣図書館カレンダー



1月

2月



Calendar table with columns for days of the week and rows for dates from 1 to 31.

小俣図書館館長から新年のあいさつ

令和7年は昭和100年。昭和の時代は1926年12月25
日に始まり、4世代以上にも及ぶ長い時間が流れようと
しています。恐慌と戦争に直面し、復興と発展を経て、
昭和天皇の崩御は東西対立の終結と相重なっていました。
平成、令和とさらに時が移る中で、皆さんの胸のう
ちに、どのような思いが受け継がれていったのでしょうか。
小俣図書館はこれからも、自らを信じ、大切な人を
思い、郷土を愛する皆さんに寄り添う存在でありたいと
願っています。新しい年は乙巳(きのとみ)。しなやかな
伸長を表し、再生と変化の意味が秘められているそうで
す。

※「★」の行事は、申し込みが必要です。
※行事詳細は小俣図書館のポスター・チラシをご覧ください。
※諸般の事情により、行事が延期または中止になる場合がございます。
ご了承ください。

伊勢市立伊勢図書館 1月号 図書館だより



No.275

令和7年(2025年)1月1日発行
 編集・発行 伊勢市立伊勢図書館
 指定管理者/株式会社図書館流通センター
 住所 〒516-0076 伊勢市八日市場町13-35
 電話 0596-21-0077 FAX 0596-21-0078
 ホームページ <https://iselib.city.ise.mie.jp>
 一般・X(旧twitter) @toshokan_iselib
 子育て・X(旧twitter) @isetoshokan
 YA・X(旧twitter) @IselibYa

「おはなし会」

《日時》毎週 土曜日 午後2時30分～

《場所》1階・おはなしコーナー

1月11日・18日・25日

／おはなしプーさんによるおはなし会

えほんの
よみきかせ
かみしばい
など

伊勢市立伊勢図書館館長より 新年のご挨拶

あけましておめでとうございます。
伊勢図書館をご利用いただき誠にありがとうございます。

伊勢図書館は、開館33年目を迎えます。
神都図書館から数えると97年目となります。
先人の皆様が収集した知の宝庫を、次世代に大切に引き継いでまいります。
2025年もよろしくお願いいたします。



「あかちゃんえほんのじかん」

《日時》1月23日(木) 午前11時～

《場所》2階・視聴覚室

《内容》あかちゃんむけの絵本の紹介や、手あそびなどをします♪

「あかちゃんえほんのじかん」は、毎月第4木曜日です。

プログラミング講座 プログラミングロボット「こくり」をうごかそう!

《日時》1月19日(日) 午後2時～3時

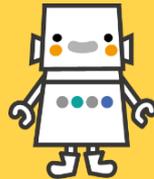
《場所》2階・視聴覚室

《対象》小学生とその保護者

《定員》5組(先着順)

《内容》プログラミングロボット「こくり」と遊びながら
楽しくプログラミングを学ぼう!

《申込》1月5日(日)9時から、直接・電話・ファクスで同館へ



「上映会」

《日時》1月12日(日) 午後2時～

(開場は午後1時45分)

《場所》2階・視聴覚室

《定員》40人(当日先着順)

伊勢への道 JINGU

「第二巻 神宮の叡智」編

〈上映時間63分〉

「日本人のこころのふるさと」である、伊勢神宮。
神道の聖地において、古来より受け継がれてきた永遠のメッセージをお届けします。

ボランティア養成講座

《日時》①2月15日(土)

午前10時30分～12時

②2月22日(土)

午前10時30分～12時

《場所》2階・視聴覚室

《対象》おはなし会等ボランティア活動に興味のある方・絵本や紙芝居に興味のある方

《定員》5人※両日参加できる方

《内容》絵本や紙芝居の選び方・読み方・わらべうたなどの講座

《講師》山本真知子さん(おはなしプーさん)

《申込》1月18日(土)9時から、直接・電話・ファクスで同館へ

開館時間 午前9時～午後7時

休館日 毎週水曜・第2金曜

・年末年始・特別整理期間

貸出 1人10冊 2週間以内(うち雑誌は5冊まで)

1団体50冊 1ヶ月以内(うち雑誌は25冊まで)

★12月29日(日)～2025年1月4日(土)までは
年末年始のため休館です。

* 伊勢図書館・休館日カレンダー *

1月

2月

日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4							1
5	6	7	8	9	10	11	2	3	4	5	6	7	8
12	13	14	15	16	17	18	9	10	11	12	13	14	15
19	20	21	22	23	24	25	16	17	18	19	20	21	22
26	27	28	29	30	31		23	24	25	26	27	28	

※おはなし会、あかちゃんえほんのじかん、上映会 は申し込み不要です。どうぞお気軽にご参加ください。

※諸般の事情により、行事が延期または中止になる場合があります。ご了承ください。



本のごあんない

つた やじゅうざぶろう

蔦屋重三郎

～稀世の本屋、商売人～



〔一般書〕

その小さな^{かしほん}貸本屋は、いかにして江戸一流の版元となったのか。

蔦屋重三郎は元々新吉原において貸本を主体とする小前^{こまえ}の本屋であった。それが、初めて出版を手掛けてから十年もたたないうちに当時筆頭^{しほんどんや}の地本問屋の一つに数えられるようになる。

彼の商人としての優秀さは、時代の動きを捉えるセンス、及び的確な判断に基づく機敏な行動力にある。一流の^{きょうかし}狂歌師・^{げさくしゃ}戯作者の協力による^{くさざうし}草双紙や^{えほん}絵本、^{きょうほん}狂歌本類の名作を出版。また^{きんがひ}錦絵を刊行するかたわら、^{きよくていばきん}曲亭馬琴、^{じっぺんしゃいっく}十辺舎一九、^{きたがわうたまろ}喜多川歌麿、^{とうしゅうさいしやらく}東洲斎写楽など、多くの逸材を世に送り出した。

稀世の本屋・商売人である蔦屋重三郎を横浜流星氏が演じるNHK大河ドラマ「べらぼう ～^{つたじゅうえいがのゆめばなし}蔦重栄華乃夢断～」は、2025年1月より放映予定である。

- ◎蔦屋重三郎（鈴木俊幸／著 平凡社）
- ◎稀代の本屋 蔦屋重三郎（増田晶文／著 草思社）
- ◎とんちき耕書堂青春譜（矢野隆／著 新潮社）
- ◎うかれ十郎兵衛（吉森大祐／著 講談社）

※伊勢・小俣図書館のどちらかに所蔵がある本です。
ご利用館にない場合は、予約ができます。

〔児童書〕

にほん かみさま でんとうぶんか 日本の神様、そして伝統文化

あ 明けましておめでとうございます！新しい年が始まりました。みなさんは初もうでに行きましたか？
お正月^{しょうがつ}といえば、おせちにしめ縄^{なわ}、お年玉^{としだま}など、昔^{むかし}から受け継がれてきた風習^{ふうしゅう}がたくさんあります。初もうでもその一つ。神さまに新年の挨拶^{あいさつ}をしに、拝殿^{はいでん}の前で手を合わせる姿^{すがた}は日本独特の伝統文化といえるでしょう。
もしかしたら1年で1番、日本の伝統文化を感じられるのが1月という月ではないでしょうか。日本の神さまや^{でんとうぶんか}伝統文化の本を読んで、1月をさらに楽しんでみてください。

- ★神社のえほん（羽尻利門/作 あすなろ書房）
- ★しめかざり（森須磨子/文・絵 福音館書店）
- ★かこさとしこどもの行事しぜんと生活 1月のまき（かこさとし/文・絵 小峰書店）
- ★神さまの森、伊勢（今森光彦/写真・文 小学館）
- ★蘇民将来と守りの木札
（中川朋美/絵 織戸隆光、松井麻美/企画・編集 ダイムちびっこクラブ）



〔ヤングアダルト〕 「思い出をカタチに」

大切な写真やメッセージのやりとりは全部、スマホの中。それが当たり前な今、あえて思い出を紙で残してみませんか？液晶越しじゃない、カタチになった思い出たち…きっとこれからのあなたの味方になってくれるはず！

- （一般書）●カメラのきほん練習帳 今度こそスッキリわかる！（松本茜／著 永岡書店）
- イラストで!暮らし便利ノートの作りかた（YUZUKO／著 メディアファクトリー）
- スクラップブックの基礎 BOOK（久米英美子／監修 パッチワーク通信社）
- 手紙の楽しみ（堤信子／監修 暮らしの図鑑編集部／編 翔泳社）



「隠岡山寿巖院」



尾上町には隠岡山という小山があり、字にもなっていました。

その小山にある寿巖院は、“いんこうざんじゅがんにん隠岡山寿巖院”と号し浄土宗鎮西派知恩院の嫡末寺で、元和元（1615）年3月、えんれんしゃきんよ縁蓮社欣譽寿巖上人により開基されました。

「ししうそうしやう師資相承（師弟相受け継ぐこと）し出世（他山に転任）することを禁じ、その相承もいつに師のせんじやう詮定によるを遺訓とした」ことから、いかに本山にとって重要な寺であり、格式を重んじたかが分かります。

宝永3（1706）年、古市では大きな火災が起こり本堂も焼失しますが、正徳元（1711）年に再建しました。以前は山麓の旧参宮街道に面して建てられていました。しかし、再建にあたり類焼を恐れたことと威厳を誇示するため、山上に引き上げて改修し、同時に観音堂も建てられました。

現在も山上にあり、少し急な長い石段を上ると立派な山門の“隠岡山”の文字が目飛び込んできます。また、明治の廃仏毀釈にも耐え、念仏寺、岡本町の善念寺、入門寺などが合わさり、今に至ります。

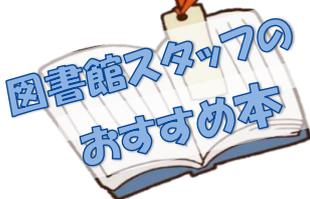
他にもねんぶち眠地蔵は不眠症や子どもの夜泣き、眠り癖に悩む者に、身代わり地蔵は病人の身代わりになってくれると伝えられてきたそうです。

山門の近くには明治29（1896）年に建立された三浦樗良の句碑（落葉塚）が残されています。

“わが庵は榎ばかりのおらば哉 無為庵樗良”

【参考資料】

- 古市参宮街道と周辺地域ガイドマップ手帳
(修道まちづくり会／編 修道まちづくり会)
- 伊勢の古市夜話 (野村可通／著 三重県郷土資料刊行会)
- 伊勢古市考 (野村可通／著 三重県郷土資料刊行会)
- 角川日本地名大辞典 24 三重県
(「角川日本地名大辞典」編纂委員会／編 角川書店)
- 伊勢山田句碑集覧 (岩出甫石／原著 伊勢郷土会)



今月は伊勢図書館のスタッフ2人が本を紹介します。

児童書

「お金とデザインと歴史」

(貨幣博物館カレンシア／監修 岩崎書店)

お金ってなんだろう？

私が生れたときにはあたりまえにお金がありました・・・

お金のない時代は物々交換でしたが、時代と共にお金も形を変えて今では、アプリでも支払いができる電子マネーまで！

そんな「お金」についての知らなかったことがいろいろとわかっちゃいますよ。



一般書

「孤独論 逃げよ、生きよ」

(田中慎弥／著 徳間書店)

装丁は真っ黒。タイトルは、誰もが心のどこかで気になりながらも触れることを恐れている「孤独」。芥川賞受賞作家である著者は、高校卒業後 15 年間引きこもり、ひたすら本と向き合ってきました。傍目には暗く絶望的な生活と思われがちですが、本人はいたって平穩であっけらかんとしています。

「引きこもりは生きるための立派な術」だと言い切る著者。彼が伝えようとする想いはいたってシンプルです。孤独であるということの捉え方や覚悟を、著者独自の視点で飄々ひょうひょうと語り、重くなりがちテーマを軽やかに、そしてポジティブなものにしてくれます。

今の生き方に少し疲れてしまったあなたに是非読んでほしい一冊。